



# 北見西ロータリークラブ会報

2022～2023年度クラブテーマ

## 《コミュニケーションとふりかえり》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)  
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)  
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)  
 ☎23-2251  
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分  
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 窪之内 覚 ■会長エレクト 齊藤伸一郎  
 ■副会長 西村 清一 ■幹事 佐藤 尊人



イマジン  
ロータリー

第2500地区ガバナーテーマ

「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」

第2424回例会

2022年11月24日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

## 情報集会報告

R情報委員会

第2423回 例会記録

2022/11/17

会長挨拶

窪之内会長



コロナ感染者がとんでもない人数に増えてきて、大変心配しております。

今日は、もしかするとこれだけ増えたので、パラパラとしか出席がないのではと、大変心配しておりましたが皆さん意を決して出てきてくださるのだと思います。これだけ沢山出席していただきまして、ありがとうございます。今後どうなっていくかわかりませんが北海道の指針が出る、そのような事にならない限りは、例会を続けて行きたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

話が少し変わりますが、私のロータリーバッジが大変くすんでおりました、一番小さいタイプだと思うのですが非常に目立たないと、どうせ付けるのであれば目立った方がいいと、目立ってきちっといい態度ですごした方がいいと思ひまして、事務局の藤田さんへお願いして今日金ピカの新しいバッジを付ける事にいたしました。これを付けたからには、恥じない行動をしていきたいと思っております。

幹事報告

佐藤幹事

- 1) 12月例会出欠確認のご案内をレターボックスへ配布しておりますので、ご提出の程、お願いいたします。特に、12月1日例会は年次総会にて、多くの会員様達の出席を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。
- 2) 定款変更のご案内として、この度レターボックスへ配布させていただきましたが、変更内容を記した(案)をご確認いただきたくお願いいたします。強調されている変更内容として3箇所を抜粋して案内文に記載させていただいております。それに伴い、細則の言葉の表現も変更となりますのですが、この改正案について12月1日例会時の年次総会にてご審議させていただきますので、何卒皆さまのご出席の程、宜しくお願いいたします。

天気 (例会時) 最高気温 5℃



### 昼食

通し 柿の白和え  
 刺身 鰻  
 鶏のつみれ鍋  
 ご飯 味噌汁 香の物  
 デザート コーヒー

■ゲスト 高田親睦活動委員

北海道2500ロータリーEクラブ  
 2022-23年度会長 高橋 広昭さん

■ビジター 高田親睦活動委員

〈北海道2500ロータリーEクラブ〉  
 丸田 順一さん、梅井 幹雄さん  
 渡辺 正俊さん

■ニコニコボックス 石田親睦活動委員

海田会員  
 新幹線に初めてチケットレスで乗車しました。スマホで改札機に“ピッ”とするだけ。こんな時代なのですね。

角田会員  
 今年の農作業終了しました。

今川会員  
 誕生日ありがとうございました。年は取りたくないですがお祝いしていただけるのはいくつになってもうれしいものです。

渡辺(和)会員  
 誕生日ありがとうございました。

北海道2500ロータリーEクラブより  
 お心遣いをいただきました。

出席委員会渡部委員長より黒部会員へ  
例会出席優秀バッジの授与があり、その  
後、講師の紹介がありました。



### プロフィール

生 年 月 日：1979年5月22日

職 業 分 類：ITデザイン

勤務先及び役職：有限責任事業組合 デコル 代表

〒090-0827 北見市錦町157-32 TEL 0157-51-2291

ロータリー歴：2014年1月 北海道2500ロータリーEクラブ入会

(チャーターメンバー)

北見西ロータリークラブの皆さま、こんにちは。

この度は北見西ロータリークラブ様での宅話のご機会をいただきまして、ありがとうございます。本日は私の所属する、正式名称を（北海道2500ロータリーEクラブ）からも、私を含めて4名がメークアップでお邪魔させていただいております。後ほど話の中でも出て来ますが、私が所属するEクラブでは、通常例会では直接顔を合わせての会長の時間や卓話をする事がなく、例会はホームページにて開催されます。現在はテキストベースの原稿に返信を行うことによって、例会出席とさせていただきます。

過去には動画を使用した会長の時間などを視聴しての例会出席をした事がありますが、例会の設えの負担などにより、近年は上記の方法にて例会を行なっております。

この度、窪之内会長・佐藤幹事並びに渡部出席委員長より「出席について」の卓話ご依頼をいただき、改めまして「例会出席」について考える時間を頂きました。貴重な経験をするお時間をいただきましてありがとうございます。

出席についてのお話を始める前に、簡単に所属する（北海道2500ロータリーEクラブ）の説明と、今年度会長を仰せつかっております、私の自己紹介を簡単にさせていただきたいと思っております。

### 【クラブの概略や活動内容の説明】

お時間があるときにでも当クラブホームページのTOPページに、創立から5周年までの活動を3分程度にまとめました動画がありますので、ご視聴いただけましたら幸いです。

北海道2500ロータリーEクラブ | E-Club of Hokkaido 2500 Japan

URL : [hokkaido2500rotaryclub.org](http://hokkaido2500rotaryclub.org)

次に当クラブ（北海道2500ロータリーEクラブ）に定款に記載する「出席」について、他のクラブとは少し違う個所がありますので、説明させていただきます。全ての記載を読み上げると、他のクラブと共通の箇所もありますので、抜粋してご説明させていただきます。

クラブ定款の一般規定への記載に、「ある例会に出席したものとみなされるには、『クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから1週間以内に会員がその例会に参加する』か、または、次のような方法でメークアップしなければならない」とあります。こちらの記載は、通常のトラディショナル（伝統的な）クラブ様の規定には無いのではと思います。

（注）例会の前後14日間以内にメークアップをして欠席補填にする事は、他のクラブと同じです。

要約すると、私たちのEクラブは出席可能な時間が『1週間』与えられていることとなります。例会へ参加可能な時間は（7日間）×（24時間）＝168時間となります。併せて、Web上のホームページを例会場とすることにより、インターネット環境があれば、世界中のどこからでも参加が可能となっております。上記の例会参加環境を知るロータリアンの諸先輩方から、『Eクラブは出席率が100%なのでしょう？』と言われることが多々あります。もちろんですと言いたい所なのですが、実際の出席率はトラディショナルクラブと同じ程度か、ともすれば志のあるクラブ様に全く敵わないような出席率となっています。

数字でお伝えしますと、恥ずかしながら65～80%程度が定常で、100%の出席はクラブ創立以来、何度かしか達成できておりません。歴代の会長・幹事も上記の様な出席出来る状況であるにも関わらず、出席率が上がらない状況をなんとか打破しようと、色々な施策を行っていましたが、チャーターメンバーと新入会メンバーの世代交代も進んでおり創立時の信念も薄まって来ており、単年度制ロータリークラブの会長・幹事にできることは僅かだったと思います。

話の最初に戻りますが、この度このように「出席について」の卓話のご依頼をいただき、改めて私どもEクラブの出席について考え、問題点を炙り出すことが、他のクラブの『出席について』問題の解決の一助になりましたら幸いです。また、本日の卓話の発表にあたり、所属するEクラブの理事メンバーにも発表内容を共有しておりますので、私たちEクラブの考える内容と受け取っていただけますと嬉しいです。

私たちが考えられる問題点は以下の通りです。

#### 【問題点】

- ・例会の出席率（出席者人数）が上がらない。
- ・クラブフォーラム（月1回リアルでの開催）の出席率の低さ（コロナ前60～80%）現在（40～60%程度）
- ・奉仕活動や地区イベント、分区イベント参加の案内の遅れや情報の重要性の共有（活動の事前連絡は全体Eメールによる連絡を主とし、HP上のカレンダーでも確認可能）
- ・Eクラブとしてのメリット（出席時間の自由さ等）が、デメリット側（例会参加の失念）に作用している。

#### 【問題点の要因】

いつでもどこでも例会に出席できるという状況が、かえって例会へ参加しようと思えることを無くしてしまい、定例的な例会の出席を妨げているのでは無いか？

私を含めて、今現在在籍するメンバーは、Eクラブからロータリアンになったメンバーが大半の為、出席についての基本的なスタンスが確立出来ていないと感じます。トラディショナルクラブ様において、例会に参加をすると言う事は、意識づけが比較的しやすいと思います。

「仲間がいるから行こう」「顔を見たいから行こう」「メンバーもたくさん来ているだろうから行ってみよう」等など、例会開催のその時間に合わせて会場へ行くと例会に参加でき、先に出た欲求を満たすことができます。

では、Eクラブではその意識はもてないのか？と言いますと、月に一度ペースで開催しているフォーラムがあります。理事会を兼ねておりますが、理事以外の会員の参加も推奨しています。

以前はランチに合わせての開催もしていましたが、ここ最近は夜間に懇親会を兼ねて開催しています。また、第3分区以外にメンバーがいる事により、他地区での開催を行うこともあります。

出席率はコロナ前の第3分区旭川での開催の場合は、60～80%程度と12～16名ほどの参加で回刺されていましたが、コロナ禍の中での無警報時期においての開催では、4～6名程度が集まるのがやっとの状況でした。

現在は出席率40～60%10名程度の出席となっておりますが、まだまだコロナの影響は受けていると感じます。コロナ以外での出席率の低さについては、一概には予測できませんが、現在と未来を勘案し



ますと、やはりコロナ禍による外出規制の影響が大きいのかなと思います。

### 【問題解決の可能性を探る】

以前から例会開催の通知連絡をスマートフォンなどへ通知出来るようなシステムを利用していますが、通知の頻度や、受け取る側の状況によりあまり上手く活用できていなかったと思います。

今後は現在の通知などのシステムをより上手く利用して、例会の参加を失念しているメンバーへ参加を促せられると良いかと思います。

問題は通知をするという行為も難しい作業ではありませんが、自動では無いためシステムの管理を行う必要があります。

IT委員会などへ通知管理メンバーを決めて研修などを行う必要があるのかと思います。

欠席をした場合に、クラブメンバーに向け「メイクアップをする」と言う意味についての再認識を促す。

前述しておりますが、私たちのクラブメンバーは、Eクラブからロータリアンをスタートさせたメンバーが大半になります。

メイクアップという言葉も意味も、私を含めてまったく分からない状態からのスタートでした。

そんな中でもクラブの諸先輩メンバーや、他クラブのみなさまにご指導いただき、入会より数年たつメンバーは、メイクアップの意味を少しずつ理解してきておりますが、その理解内容を新入会員へ落とし込む事が出来ていませんでした。

今後は新会員の入会に合わせて、出席の意味や意義、欠席した場合のメイクアップの理由と方法を丁寧なオリエンテーションでレクチャーできる様な環境をつくりたいと思っております。

また、その中で地区大会や地区協議会、その他地区区分イベント、奉仕活動等への参加により、例会欠席の補填をすることが出来ることの周知も行っていき、各種イベントや奉仕活動への積極的な参加を促していきたいと思っております。

以上、「出席について」とのテーマに託（かこつ）けて、当クラブの目標発表のような内容になってしまいましたが、最後にみなさまにお伝えしたい事として、「例会出席」はロータリークラブへ所属している方の楽しむ時間だと思っております。

特に世界が人と人が会ったり触れ合ったりする事を否とする時代においては、例会での人と人との触れ合いが、宝物のように感じます。

私達Eクラブも、Webばかりの例会だとしたら、恐らくメンバーは辞めて行ってしまおうと思います。

今回、北見西ロータリークラブの例会へ「出席」させていただき、みなさまと例会参加時間を共有させていただきました事に感謝いたします。

本日はみなさまありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。

■ 例会予告	12月1日	年次総会（役員・理事選出） 会員卓話「私の青春」	会長・幹事 平間 俊男 会員 プログラム委員会
	12月8日	会員卓話「あまり聴けない・言えない疾患」	榊原 尚行 会員 プログラム委員会

## 出席報告

## 出席委員会

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メ イクア ップ (E)	事後メ イクア ップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	11月17日	62	12	43	8	0		74.1%